

令和5年度 第1回湯沢学園学校運営協議会 会議録

令和5年4月21日（金）15:00～16:40

会場 湯沢学園 会議室

1 委員の委嘱及び自己紹介（委員名簿参照）

湯沢町教育委員会より新委員に委嘱状を交付した。委員名簿を基に自己紹介を行った。

2 令和5年度会長・副会長の選出及び就任挨拶

○会長 南雲 弘 委員 ○副会長 中澤 秀子 委員

会長と副会長に2名が選出された。

3 参考資料の確認

事務局から参考資料の説明。資料は以下のとおり。

- (1) コミュニティ・スクールの概要および成果確認について
- (2) 学校評議員制度と学校運営協議会制度との違いについて
- (3) 湯沢町学校運営協議会会則について

○令和4年度の取組について（事務局）

- ・令和4年度は5回の学校運営協議会、児童生徒、教職員と行った、拡大学校運営協議会を1回、臨時の学校運営協議会を2回、計8回の協議を行った。
- ・令和4年度の提案で、「しっばね防止」と「地域のイベントに関わる 湯沢町福祉フェスティバルへの関わり」の2点がまとまった。

【質疑】

○(2)の学校評議員制度は湯沢学園にはまだ残っているのか？

(事務局) 湯沢学園の開校当初より、学校運営協議会を組織しており、残っていない。

4 協議事項

○各校園の様子について（各校園長）

① 子ども園

4月4日に入園進級会を行った。バス通園の3歳以上児にはバス乗車時のマスク着用を推奨している。子ども園の教育目標の1つは「愛されてたくましく」である。

② 小学校

4月10日に入学式を行った。47名の新1年生が入学した。転入生も学校に馴染めてきた。昨年度からの長欠児童についても、丁寧に対応している。20日に音楽朝会を行い、職員2名がギターを弾いたり、子どもがリコーダーを吹いたりした。

③ 中学校

4月10日に中学校も入学式を行った。46名の新7年生が入学し、全校で132名となった。昨年度からの不登校傾向のあった生徒が、今年度のスタートと同時に教室に入れる様子もあった。今年度も弾力的に学級を編成しており、各学年2学級、特別支援学級が3学級として、計9クラスとなった。部活動の地域移行も始まった。7年生は部活動の体験入部をし、所属する部活動を決定した。

(1) 令和5年度学校運営方針について

湯沢中学校の井口校長より湯沢学園令和5年度のグランドデザインを資料に基づいて説明。

## 【質疑】

○昨年度のグランドデザインとの違いは？

中学校長

→資料1 2ページの保小中の連携について、例年活動していた事項を盛り込んだ（保小中の乗り入れ授業など）。保小中の避難訓練についても盛り込み、保小中の職員の連携なども行っていく。

○子ども園の教育目標「愛されてたくましく」はグランドデザインに記載されていない。記載してもいいのでは？湯沢学園の「人を想い 我を磨く」の教育目標に沿っているので、入れていただけるといい。

小学校教頭

→御指摘のとおりである。保小中の連携を整理し、記載内容を検討していく。

○学力向上について、昨年度末の学校評価結果から、改善策はあるのか？

中学校長

→全職員に指導内容を徹底させ、授業改善から行っていく。子どもたちの学習内容の振り返りも充実させていく。

小学校長

→学習リーフレットの活用と内容を徹底していく。

○読書の充実について、どのような活動を行っているか？また子どもたちの1年間の図書の貸出数もわかるのか？

中学校長

→朝読書から読書の充実させている。図書の貸出数は、把握できていない。図書館のパソコンで貸出を管理しているため、貸出数の検索は可能である。図書ボランティアの皆さんが活発に活動してくださっている。図書館の整理や、学年や年齢向けのコーナーも充実してくださっている。

○キャリア教育の充実について、地域との関わりをどのようにやっていくのか？中学生だと、職場体験などで事業所に受け入れをお願いする。このようなことは学校運営協議会や地域活動協働本部で担えるのではないかと考えている。

中学校長

→商工会議所や観光協会に協力いただき、職場体験について事業所から協力いただいている。2日間の少人数での受け入れをお願いしているので、事業所の負担が大きいかもしれない。

・職場体験について、事業所に負担があるのは確かだが、事業所側にも子どもたちにその仕事や事業所の素晴らしさ、メリットを発信するような土壌づくりが町として必要だと感じる。子どもたちに事業所に来てもらって、魅力を発信するような関係づくりができるといい。

・商工業者さんの意識改革をするのであれば、湯沢学園からお願いするのはちょっと筋が違う。そのようなお願いは学校運営協議会が行っていけるといい。学校運営協議会がコミュニティの推進役になる。

○湯沢学園のグランドデザインなどの資料をホームページに載せられないか？地域や保護者の皆さんに湯沢学園の取組をより参照・周知できるといい。

○図書館の活用について、図書ボランティアと学校の業務や裁量を明確化できないか？検討いただきたい。

→上記2点、検討する。

(2) 令和5年度の年間活動計画について

資料参照。

(3) 令和5年度の活動内容について

・あいさつの活性化

あいさつポスターの掲出。月1回のあいさつ運動への参加。

- ・協議会だよりの発行  
年間で3回程度の発行。
- ・拡大学校運営協議会について  
子どもや教職員との協議会を行う。第2・3回の運営協議会で一緒に行く。
- ・「しっぱね防止」「子どもと地域がかかわるイベント」について  
しっぱねの防止について、中学生作成のビデオを視聴。  
福祉フェスティバルは10月22日（日）に湯沢町カルチャセンターで開催。  
福祉フェスティバルの準備委員会は6月16日、実行委員会は7月に開催予定。

(4) 学校運営協議会の今後の在り方  
資料参照。

**【質疑】**

- 教職員と学校運営協議会委員の拡大学校運営協議会を行い、先生方の困りごとなどを共有したい。
- 福祉フェスティバル準備会への参加者の決定について。
  - ・上記、意見について、事務局と擦り合わせを行う。

5 その他

- (1) 次回の開催予定日時について  
6月22日（木） 15:00～16:30 湯沢学園 会議室
- (2) その他
- ・事務局より、委員報酬に関わる手続きについて説明。
  - ・湯沢学園メディアルールの新発行について説明。
  - ・湯沢町教育委員会より、湯沢町の落書き被害について報告。資料参照。
  - ・事務局より、あいさつポスターの配付先について説明。資料参照。

6 閉会の挨拶(副会長)

本日はありがとうございました。先日テレビで北海道のある地域で、ICTなどを使って地域の方々が学校に入っていきやすいよう取り組んでいるニュースがあった。コミュニティ・スクールはこれを目指していけばいいのではないかと。子どもも保護者も先生方も笑顔になる学校づくりを皆さんで行っていきたい。1年間よろしくお願ひします。